

食品健康影響評価に係る補足資料の提出依頼状況について

I. 平成 24 年 1 月 31 日に依頼した資料

1. 諸外国における特定危険部位（SRM）とならない 30 か月齢以下のせき柱等の利用実態に関する情報
2. 国内及び各国（米、加、仏、蘭）のと畜牛の月齢構成に関する情報
3. 国内のゼラチンの原料に関する情報（特に輸入実態）
4. 国内及び各国（米、加、仏、蘭）の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）の患者数及び監視体制に関する情報

II. 平成 24 年 2 月 17 日に依頼した資料

- 1 日本、アメリカ、カナダ、フランス及びオランダでの、1986年～2011年における生体牛（全品種）の年別、国別輸入頭数（提出済みの年は除く）。
- 2 日本、アメリカ、カナダ、フランス及びオランダでの、1986年～2011年における肉骨粉の年別、国別輸入量及び使用用途（提出済みの年は除く）。
- 3 日本、アメリカ、カナダ、フランス及びオランダでの、1986年～2011年における動物性油脂の年別、国別輸入量及び使用用途（提出済みの年は除く）。
- 4 アメリカでの、最新（現状含む）の牛の個体識別制度（トレーサビリティ）の状況。
- 5 オランダでの、最近における反すう動物用飼料及び反すう動物へ給与が禁止された物質を含む飼料の両方を生産している飼料製造施設の数、並びに反すう動物用製造ラインの専用化（分離方式、洗浄方式等）状況。
- 6 日本での、最近の牛飼養農場でのその他の家畜等との混合飼養状況。
- 7 日本での、最近のレンダリング施設数、並びに1986年以降の施設に対する規制内容（温度等）及びその遵守率。
- 8 日本での、牛海綿状脳症（BSE）発生事例における疑似患畜に関する情報。
- 9 日本での、牛海綿状脳症（BSE）認知プログラムの内容及び研修実績。
- 10 日本での、牛以外の動物の伝達性海綿状脳症（TSE）のサーベイランス方法及び発生状況。